

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド（愛称：グレート・スモール）」は2025年5月26日に第11期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第11期末（2025年5月26日）

基準価額	18,294円
純資産総額	867百万円
第11期	
騰落率	△26.2%
分配金（税込み）合計	0円

(注1) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI米国小型成長株ファンド （愛称：グレート・スモール）

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第11期（決算日：2025年5月26日）

作成対象期間（2024年11月26日～2025年5月26日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2024年11月26日～2025年5月26日）



期首：24,773円

期末：18,294円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△26.2%

（注1）当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米国景気の軟着陸による米国金融政策の緩和への期待
- ・堅調な米国景気を背景とした企業業績の好調持続
- ・人工知能（AI）関連の需要増への期待などによるハイテク株高

下落要因

- ・想定以上に堅調な米国景気による金融緩和策の後退
- ・トランプ政権の財政拡大政策によるインフレの高止まり
- ・トランプ政権の関税政策による世界経済の停滞
- ・日米の金利の方向性の違いなどによる円高ドル安（米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測、日銀の利上げ観測等）

1万口当たりの費用明細

(2024年11月26日～2025年5月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	165 円	0.782 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(93)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(70)	(0.329)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.082	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0.082)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.002	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.002)	
(d) そ の 他 費 用	89	0.419	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(66)	(0.311)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(7)	(0.032)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(16)	(0.076)	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	271	1.285	
期中の平均基準価額は、21,170円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

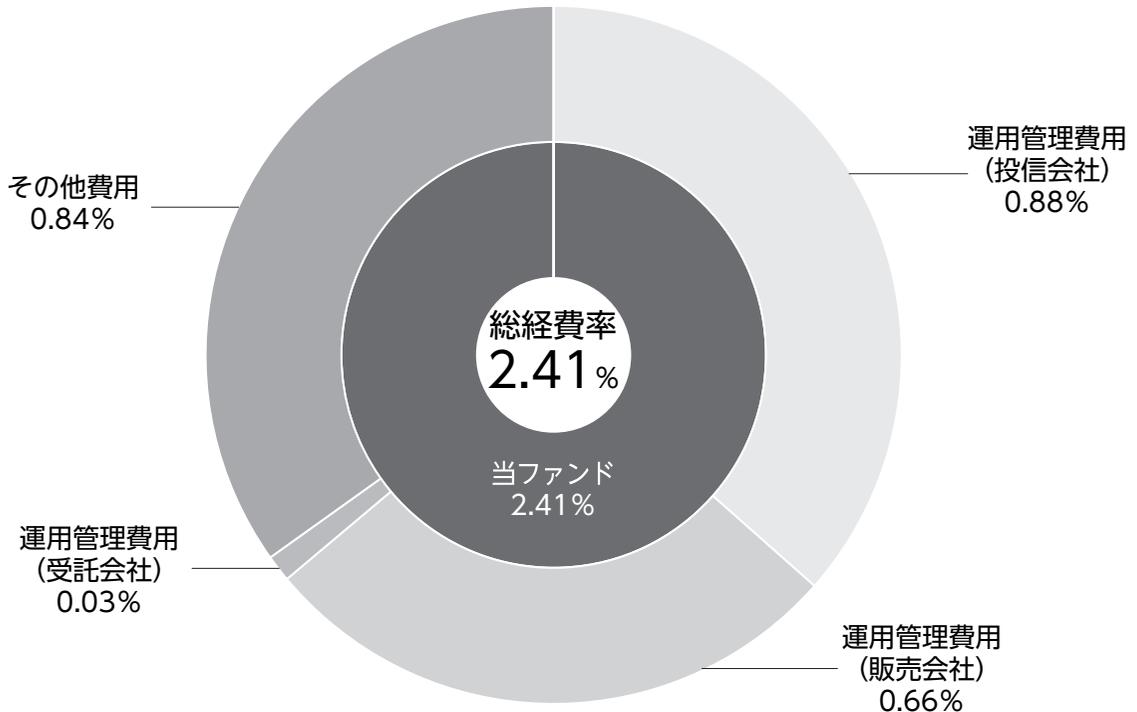
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.41%です。



（注1）上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。実績報酬は、各期末時点の運用実績に応じて委託会社が受け取る運用の対価ですが、他の費用と同様に年率換算しています。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月25日～2025年5月26日)



(注) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2020年5月25日 決算日	2021年5月25日 決算日	2022年5月25日 決算日	2023年5月25日 決算日	2024年5月27日 決算日	2025年5月26日 決算日
基準価額 (円)	10,017	15,953	13,218	14,904	22,164	18,294
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	59.3	△17.1	12.8	48.7	△17.5
純資産総額 (百万円)	1,404	1,602	1,011	1,041	1,211	867

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

（2024年11月26日～2025年5月26日）

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

<米国株式>

当期は、米大統領選挙後の2024年11月の上昇局面から始まりました。トランプ大統領の当選と共和党が上院と下院の両方を制したため、投資家の市場見通しは楽観的でした。トランプ氏の成長促進と米国優先の政策により経済が恩恵を受けると期待していました。しかし、楽観的な見方は持続せず、12月には株式が急落しました。11月の上昇局面での買われ過ぎ、投資家心理の極端な強気などが背景にあります。下落要因として、まず長期国債利回りが、9月から12月中旬までにほぼ90ベースポイント上昇しました。次いで、連邦準備制度理事会（FRB）の利下げペースに減速が見られたことです。さらに、トランプ政権の新施策が、市場の懸念を招きました。新提案の関税政策や、トランプ政権の人事などです。

投資家の懸念通り、2025年2月末ごろ株式市場が下落を始めました。これは、トランプ政権の関税政策に対する恐れからでした。米国の経済動向はより混沌となり、第1四半期が終了するにあたり、消費者と企業の景況感は弱まり、純輸入と産業活動は4月に予想される関税の実施前に増加しました。4月2日の「解放の日」が近づくにつれ、関税の悪影響に対する投資家の懸念は高まり、売り圧力は歴史的な水準に高まりました。

4月2日、トランプ大統領は予想以上大規模な「相互関税」を発表しました。翌日、翌々日米株式市場は大幅に下落しました。2020年の新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン期間以来、米国市場における2日間下落として最も大きなものでした。ドル、原油価格、長期国債利回りも急落しました。4月9日、株式市場が急落し、信用市場や債券市場が亀裂を見せ始める中、トランプ大統領は方針を転換しました。米国に報復措置を講じていない国・地域に対して、上乗せ関税を90日間停止しました。これにより、市場は反発しました。

ファンドは、ラッセル2000グロース指数をアンダーパフォームしました。ヘルスケアセクター内、特にバイオテクノロジー、製薬、ライフサイエンスの銘柄選択が、最大のアンダーパフォーム要因でした。また、情報技術と資本財サービスセクターへの投資、特に人工知能（AI）関連投資がDeepSeekショックにより、マイナス寄与しました。プラスに寄与したのは、エネルギーと素材の分野での銘柄選択でした。ラッセル2000グロース指数に対して、今期、エネルギーセクターのウェイトを増やし、情報技術セクターのウェイトを減らしました。資源エネルギー分野では、石油サービス、探査・生産、ウラン鉱関連株への投資を引き続き行っております。

<為替>

期初、米ドル／円相場は154円近辺で始まりました。期初は財政規律を重んじるとされるベッセント氏が財務長官に指名されたことや、FRBの利下げ観測が高まり、円高／ドル安基調で推移しました。2024年12月のFOMCでは、FRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を2回程度に減らしたことから米長期金利が大幅に上昇し、再び円安／ドル高となりました。しかし国内では2025年1月の日銀会合において利上げが決定されたことや今後も利上げが予想され国内金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、2025年に入り円高／ドル安傾向に転換しました。トランプ米大統領による関税政策が順次発表されると、景気後退懸念が高まり、さらに4月2日に相互関税が発表されると円高／ドル安が加速しました。相互関税の延期や、米英との関税合意や中国に対する関税引き下げが発表されると、円安／ドル高になる局面もありましたが、円高／ドル安基調は変わらず、期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年11月26日～2025年5月26日）

<当ファンド>

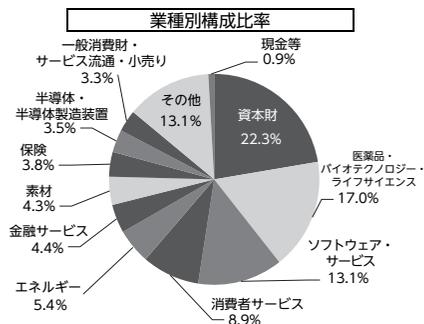
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI米国成長株・マザーファンド>

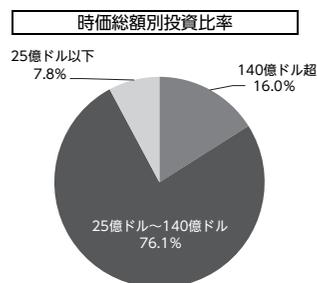
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年11月26日～2025年5月26日）

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

分配金

（2024年11月26日～2025年5月26日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第11期
	2024年11月26日～ 2025年5月26日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,739

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドの実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントが和訳・編集したものです。

【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

当期末に向けて、再び楽観的な見方が見られます。しかしながら、トランプ大統領の関税政策と経済への影響については依然として不確実性と多くの疑問があります。トランプ大統領の目標は複雑で、矛盾が多く見られます。すべての貿易赤字を解消し貿易均衡を実現するという不可能な目標を掲げています。一方で、トランプ大統領は、貿易相手国による「不公平な」貿易慣行と同大統領が呼ぶ非関税貿易障壁の撤廃も望んでいます。これらの慣行はしばしば主観的なもので交渉は困難と考えます。中国を制裁し、孤立させ、巨額の貿易赤字と多くの貿易慣行を是正したいと考えています。さらに、製造業を米国に呼び戻したいと考えています。

これらの目標のどれが最も優先度が高いのかは、トランプ大統領のメッセージとレトリックが変化しているため、不明確な状況にあります。市場参加者や企業経営者を混乱させています。

それでも、重要な明るい兆しや潜在的な好結果がいくつかあります。

- ・10%の関税率（中国を除く）がおそらくめどとなり、トランプ大統領と多くの主要貿易相手国が合意に至りたいと表明しているため、交渉によって相互関税率が引き下げられる可能性があります。
- ・トランプ大統領は、過去の実績として、市場のストレスが大きすぎると、考えを変えて方針転換してきました。
- ・関税は確かに経済成長を圧迫しますが、米国経済は堅調な労働市場を背景に堅調でした。
- ・関税はインフレを誘発しますが、4月に向けてインフレ率は落ち着いております。
- ・米国経済の大部分はサービス経済であるため、関税が財の面で経済に影響を及ぼす中でも比較的持ちこたえる可能性があります。
- ・原油価格は急落しており、財インフレを相殺し、経済全体のクッションとして機能しています。
- ・裁判所や議会が、トランプ大統領の関税に関する大統領令を阻止するために介入し続ける可能性が高いでしょう。
- ・FFレートが複数回引き下げられると予想されています。
- ・規制緩和と減税が、企業活動に有利に働く可能性があります。

私どもは引き続き、このような環境でも、市場シェアを拡大し、期待を上回る業績を達成できる優位性を持つ企業に注目してまいります。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
 （変更適用日：2025年4月1日）

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

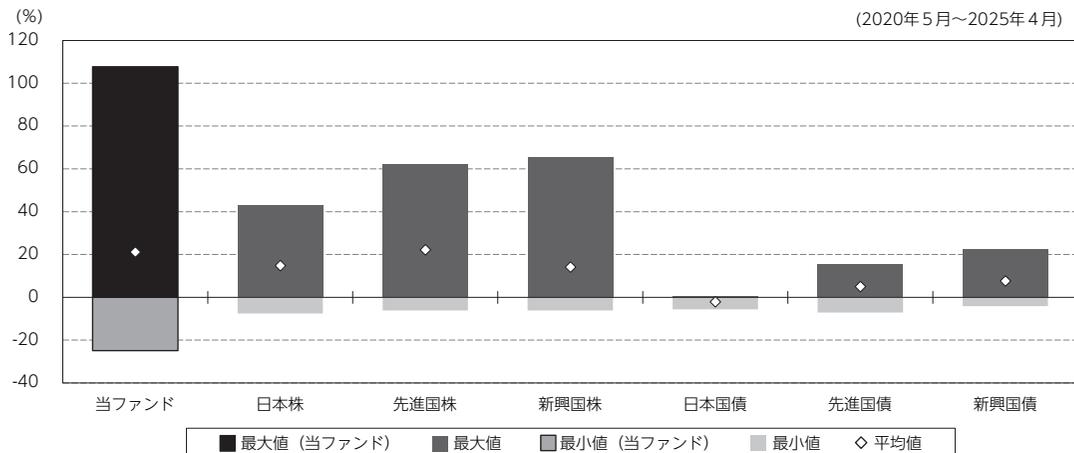
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（設定日：2019年11月29日（金））	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ベビーファンド）	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回（5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日）決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	107.7	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 24.9	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	21.1	14.8	22.2	14.1	△ 2.1	5.0	7.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降の騰落率データが5年に満たないため、2020年11月末から2025年4月末のデータを基に算出しています。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

*海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2025年5月26日現在）

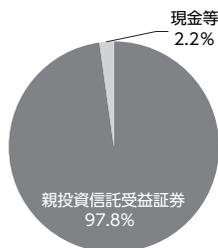
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末
	%
SBI米国成長株・マザーファンド	97.8
組入銘柄数	1銘柄

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

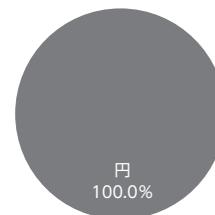
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

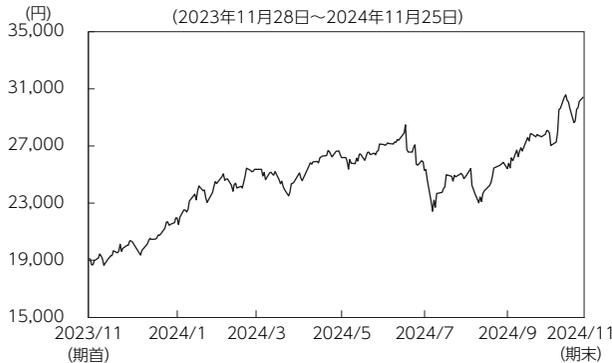
項目	第11期末
	2025年5月26日
純資産総額	867,568,109円
受益権総口数	474,239,693口
1万口当たり基準価額	18,294円

（注）期中における追加設定元本額は33,512,676円、同解約元本額は54,273,204円です。

組入上位ファンドの概要

SBI米国成長株・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年11月28日～2024年11月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	34円 (34)	0.139% (0.139)
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.003 (0.003)
(c) その他費用 (保管費用)	203 (203)	0.834 (0.834)
合計	238	0.976
平均基準価額は、24,376円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2024年11月25日現在)

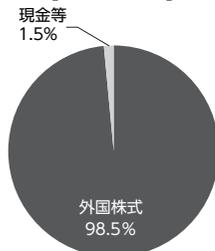
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	FTAI AVIATION LTD	資本財	米ドル	米国	2.7
2	CRINETICS PHARMACEUT	医薬品等	米ドル	米国	2.4
3	MODINE MANUFACTURING	自動車・自動車部品	米ドル	米国	2.0
4	COHERENT CORP	テクノロジー・ハードウェア	米ドル	米国	1.9
5	SPROUTS FARMERS MARK	生活必需品流通・小売り	米ドル	米国	1.8
6	CORE SCIENTIFIC INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.7
7	SWEETGREEN INC - CLA	消費者サービス	米ドル	米国	1.7
8	ASTERA LABS INC	半導体関連	米ドル	米国	1.7
9	NATERA INC	医薬品等	米ドル	米国	1.6
10	FRESHPET INC	食品・飲料・タバコ	米ドル	米国	1.6
組入銘柄数			117銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注3) 国(地域)につきましては発行国を表示しています。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2024年11月25日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成又は算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。